

アプリケーションプログラム パフォーマンス診断パッケージ

～パフォーマンス分析のスペシャリストが実施するアドオンプログラムのパフォーマンス診断サービス～

概要

お客様のSAPシステム環境で稼働しているアプリケーションプログラムが「その性能を十分に発揮しているか否か」を、弊社パフォーマンス分析スペシャリストが診断させていただきます。

診断結果に基づき、アプリケーションプログラムの問題点を明確にし、その改善案を提案させていただきます。

- お客様の検証用環境にてテストデータを用いた「実行時間分析」を行い、問題となるプログラムを特定いたします。
- プログラムのソースコードを解析し、「システムに大きな負担を掛けている」処理ロジックを特定いたします。
- 問題点や改善案を具体的に明示いたしますので、その後の「アプリケーションプログラム改善」を行う際にお役立ていただけます。
- 診断結果は、「実行時間分析をグラフで記載する」、「ソースコードのリストに該当箇所に改善案を記述する」等分かり易く報告いたします。

前提条件

分析対象

- ABAPで記述されたアプリケーションプログラム（SAP標準プログラムは除く）

お客様体制

- 情報システム部門の担当者

お客様にお願いすること

- 分析に必要な環境の準備
- 必要な資料の提供

作業ステップ

- 事前準備(お客様作業)
- 調査・分析
- 改善案検討
- 報告書作成
- 報告(報告会など)

アウトプット

- パフォーマンス診断結果報告書

期間

- 約3日間

(プログラム行数:5,000行未満、入出力データの数:20未満)

価格

- 30万円（消費税抜き）

※たとえキャンペーんは2010年3月31日で終了しました。ご提供の

お問い合わせ

株式会社ウェルポートコーポレーション

〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町3-2-7

「パフォーマンス分析診断パッケージ」担当

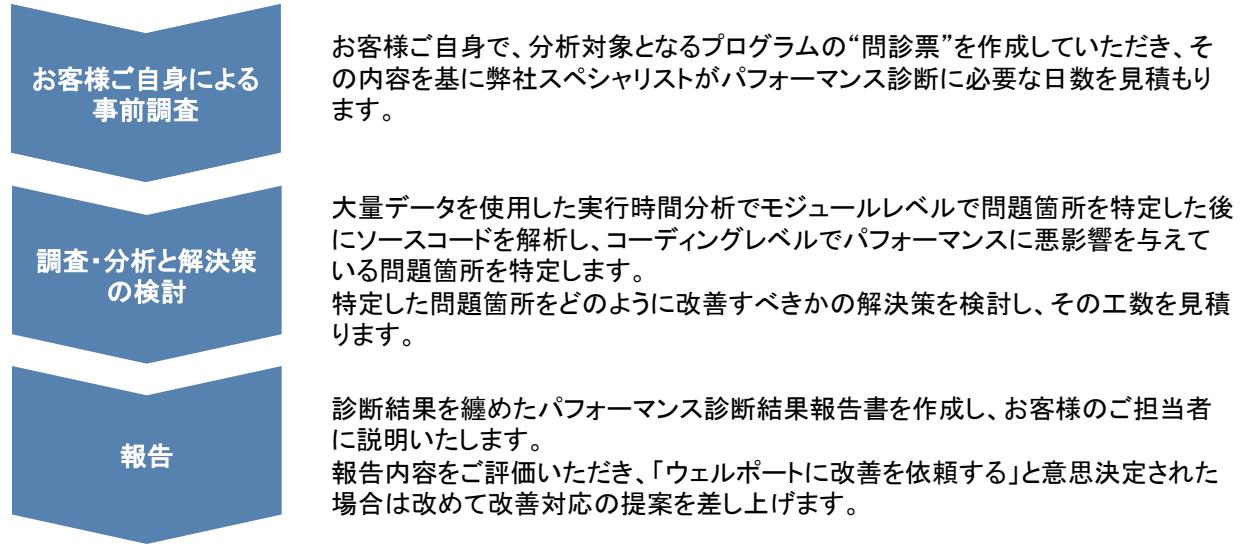
TEL : 06-4963-9720 FAX : 06-4963-9721

E-Mail : cs_customer@welport.co.jp

URL : <http://www.welport.co.jp/>

- アプリケーションプログラム パフォーマンス診断パッケージの手順 -

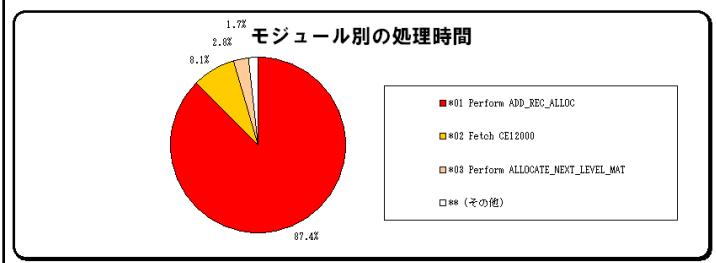
プログラム情報記入表に基づき、お客様ご自身で調査可能な情報については記入して頂き、それ以外の情報についてはヒアリング形式で調査させて頂きます。その後、実際の処理時間と負荷状況の測定結果とソースコードを解析することにより、問題点を把握し解決策を提案させて頂きます。



- アプリケーションプログラム パフォーマンス診断パッケージの報告 -

以下のようなアウトプットを提示致します。これにより分析対象プログラムがどのような状況にあるのか、どのような問題点があるのかを把握できると共に、解決していくためにはどういった施策があるのかもわかりますので、今後どのような対応をしていけば良いか判断する参考情報としてお役立て頂けます。

No.	モジュール	Net処理時間 (マイクロ秒)	Net (%)
#01	Perform ADD REC ALLOC	1,109,593.178	87.4%
#02	Fetch CE12000	102,243,912	8.1%
#03	Perform ALLOCATE_NEXT_LEVEL_MAT	35,620,638	2.0%
**	(その他の)	22,309,434	1.7%
***	合計	1,268,867.162	100.0%



ル	プログラムID	内部項目	計算値
400_980_ALL00	DPA_VIP_VAR_ALLOC	内部テーブルから既存データを探すために、内部テーブルを最初ソートしているので、時間かかるっている。 内部データ=約4,000,000件 内部テーブルのソート処理=約1,000,000回	未達データを何度もソートしないようにする。 案内ループ処理の前に、1回だけソートしておく。 案内ソートを他のループとすると。
OE12000	DPA_VIP_VAR_ALLOC	以下のINDEXの検索で時間がかかっている。 (検索条件に一致した、適切ないINDEX) OE12000 値検査テーブル	以下のINDEXを適用する。 NAMEID Client PADDRESS ホストID VERCD Ver... Ver... 明細日 PERIOD 会計年度 初期日 BUDGET 年度予算 WEMS プラット ARTNR 项目名 負荷履歴
rn ATE_NEXT_LEVEL_MAT	DPA_VIP_VAR_ALLOC	対象のデータのみループするのに、以下の効率的な手順で処理を行っている。 1. 内部テーブル全体コピー 2. 上記1から対象外のデータを除外 3. 上記2をループ (上記の手順をループする事になる)	対象データのみをループする。 AT LAST(データ削除も変更が必要 ⇒ AT END OF xxxx イベントを使う
rn ATE_FKINSHU	DPA_VIP_VAR_ALLOC		
rn GET DATA COPY	DPA_VIP_VAR_ALLOC		
rn STORE VALUE	DPA_VIP_VAR_ALLOC		
rn DATA_CPY	DPA_VIP_VAR_ALLOC		
rn D0001	/SAPF011/GAFL0001		
rn DPA_VIP_CONDIMP	DPA_VIP_VAR_ALLOC		
rn DPA_VIP_CONDIMP	DPA_VIP_VAR_ALLOC		
rn DPA_VIP_CONDIMP	DPA_VIP_VAR_ALLOC		